



盛岡中央高校
PTA会報

MORIOKA CHUO HIGH SCHOOL
The Transaction of PTA

Vol.59

令和5年12月14日
盛岡中央高等学校
PTA会長 原田 理徳子
在校生徒数898名
〒020-0122
盛岡市みたけ四丁目26番1号
電話019-641-0458
URL <http://www.chuo-hs.jp>

第24回CHUO国際教育フォーラム

フォーラム実行委員長
前田 侑那 (Sonn)

今年、第24回CHUO国際教育フォーラムをコロナ明け4年ぶりに通常開催することができました。盛岡中央高校は同年9月に創立60周年を迎え、その特別な年にフォーラムを開催できたことを嬉しく思います。

「Think globally and act locally. Transforming the world using the SDGs」をテーマにSDGsの発達課題である、海の豊かさ、陸の豊かさ、気候変動への具体的な対策、の三つの観点から探究を進め、発展しました。交流を通じてフォーラムに参加した生徒は、SDGs発達課題のよ

うな社会、環境問題への関心が高まり、解決へのアプローチの多様性やこれから自分ができる事について考える良い機会が得られたことと思います。コロナ禍が明けて、行動範囲が広がった今、コロナ禍のプランクを埋める以上に、より良い未来へ向けて、フォーラムでの経験を活かして、活動していきます。

コロナ禍の影響から中止やオンライン開催を余儀なくされていましたが、今年度は4年ぶりに海外姉妹校の生徒、教員を日

本に招いて実施することが出来ました。実際にオーストラリア、ベトナム、マレーシア、タイ、インドネシア、台湾、アルゼンチン、大韓民国、シンガポール、イギリスの10か国の姉妹校生徒ならびに先生方が来日しました。1週間という短い期間ではありますが、プレゼンテーション発表の準備や文化交流、ホームステイなどを通して、交流することができました。ホームステイを受け入れて下さいましたご家庭には本当に感謝しております。ありがとうございます。

今年度は本校の創立60周年の年でもあり、このような節目の年に、中央高校の国際交流、グローバル教育を象徴するイベントを対面で再開することができ、非常に感慨深いものがあります。4年ぶりの対面実施ということ、コロナ禍以前のフォーラムを知る生徒が多い状況でしたが、フォーラム実行委員会生徒は教職員や実行委員同姉妹校生徒とも積極的にコミュニケーションをとりながら、フォーラム本番に向けて各々の役割を全うしようと非常に意欲的に行動しました。今回のフォーラムの成功に導くことが出来たのはこうした生徒たち

の主体的な行動する力によるものであったと感じています。楽曲のリニューアルなども行い、新しいフォーラムを象徴するような新しい試みもいくつか行うこともできました。生徒の国際交流の要として今後もより良いものとしてまいります。今後ともご協力よろしく願っています。

(国際課長/石川圭一郎)



御礼



校長 千葉 研二

保護者の皆様には、日ごろより本校の教育活動にご理解とご協力を賜り深く感謝申し上げます。

す。コロナ対応の5類移行によりここまで学校行事はほぼ流行以前と同様に予定通り実施することができました。しかしながら、完全に終息とまでは言えない状況にあり、本校の生徒・教職員も若干名ではあります感染者もおり、一刻も早く終息することを願うばかりです。

さて、六月考査終了後の六月二十九、三十日に体育大会を開催することができました。趣向を凝らしたお揃いのクラスTシャツであふれんばかりのエネルギーを散发していました。七月七日、八日には昇龍祭を生徒会の要望もあり二日間開催となりました。特にPTA昇龍祭委員の皆様には記録的な暑さの中、ご奮闘いただきまして「ババハライス」等すべて完売し、売上金のご寄付までいただきました。改めて感謝申し上げます。三年生にとっては、高校生活最後の大会となった高校総体、そして、夏の高校野球、全国高校総体、全国高校総合文化祭、それぞれ部の活躍は大変素晴らしいものがありました。全国選抜大会にもコマを進めて欲しいと願っています。

九月一日には中央高校創立六〇周年記念式典、四年ぶりと対面でのCHUO国際教育フォーラム、祝賀会を多くのご来賓と海外姉妹校十校、沖縄尚学高校の参加をいただき開催いたしました。フォーラムでは「地球規模で考え、地域に貢献しよう」のテーマを活用し世界を変えよう」のメインテーマの3年目の完成年度としてディスカッション、プレゼンテーションを実施しました。一つの学校がこのような取り組みをしていることは奇跡的であり、大変素晴らしいとお褒めの言葉を各方面からいただいております。当日の様子は是非HPでご覧ください。会場の都合もありPTA会員の皆様全員のご出席はかないまでもありますが、皆様のご協力、ご支援をいただきましたこと衷心より御礼申し上げます。本当にありがとうございます。

高校三年生は卒業後の進路に向けて最も大切な時期となります。卒業生一人ひとりに「合格おめでとう。卒業おめでとう」と言わせて欲しいと願っております。

国際Rコース

Global Studies Program

国際Rコース生徒を対象に、7月31日～8月4日の日程で行われました。このプログラムは日本有数の大学。大学院に留学している外国人をグループリーダーに迎え、自己のアイデンティティーや世界の諸問題、将来的に社会にどのように関わっていくかなどについてオールイングリッシュの環境でディスカッションを行うものです。最後はもちろん英語でのプレゼンテーションを行い、楽しく明るい雰囲気の中で有意義なプログラムとなりました。

(国際Rコース長 石川圭一郎)



グローバル教育

帰国報告会

カナダ(1年、5カ月、3カ月)、オーストラリアの1タームの留学報告を行いました。今回はさらに台湾研修の生徒達も研修報告を行いました。コロナ禍の影響からカナダ留学のみの実施が続いていましたが、昨年度1月出発からオーストラリア及びニュージーランドも再開しています。今回はその中のオーストラリア1ターム留學生徒(東医V、特進Z、国際R)の発表となりました。すべて英語でのプレゼンテーションを立派にやり遂げました。

(国際Rコース長 石川圭一郎)



学年行事

1学年

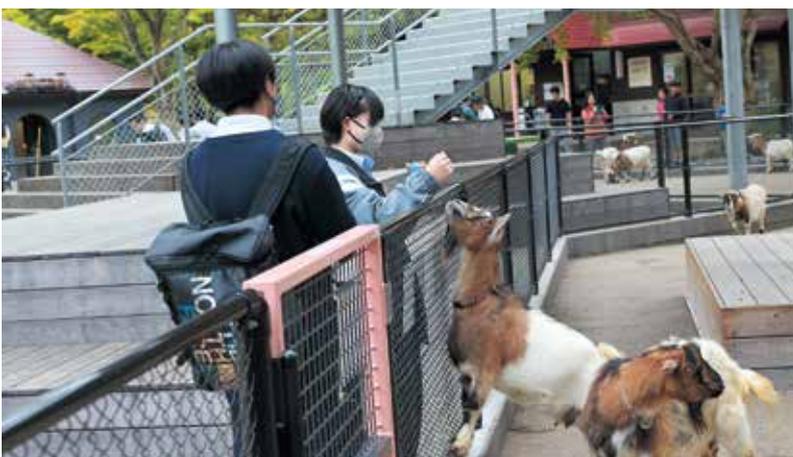
9月30日(土)、1学年行事としてクラス対抗ドッチボール大会を行いました。内容はクラス総当たりリーグ戦、1試合10分以内で時間進行。結果、1位1A1、2位1S21でした。実施に当たり、会場準備、進行、審判、後片付けなど、学級委員、体育委員がよく動いてくれたおかげで時間通りケガやトラブルなく進行することができました。雨が心配な天候でしたが、生徒たちの元気がはねのけました。

(1学年長 朝日田光晴)

2学年

第2学年の行事として9月30日(土)ZOOM(盛岡市動物園)に行つて参りました。コースの垣根を越えての実施となり、普段見る事のないキリンやゾウをバックに写真を撮ったり、餌やりをしたりと、我々教員団も新鮮な気持ちで生徒の様子を見ていました。当初の目的通り、コースを横断したコミュニケーション作りが出来たのではないかと思います。次回の学年行事はみたち地区の清掃ボランティアを計画しております。

(2学年長 伊東 雄一)



- 100kg超級 3位 島内瑞比都(1B1)
2年生の部 個人戦
73kg級 3位 諸沢文汰(2B2)
100kg超級 優勝 嶋原 翼(2A2)
●第68回岩手県高等学校新人柔道大会
男子団体戦
嶋原 翼、成田謙伸、諸沢文汰、勝田利央、島内瑞比都、佐藤劉心、觸澤着
個人戦
60kg級 2位 觸澤 蒼(1A1)
66kg級 優勝 成田謙伸(2A1)
73kg級 3位 諸沢文汰(2B2)
100kg超級 優勝 嶋原 翼(2A2)
100kg超級 3位 根子翔治(1B1)
- 本校男子柔道部は、岩手県優勝を目標に日々活動しておりますが、今年度の高校総体でもあつた一つ取れず準優勝に終わりました。個人戦では東北大会優勝や3位入賞者が出ましたが、団体戦で結果を残すことができず、終わりました。今年こそはと思いい日々精進しておりますが、決勝戦において盛岡大附属高校と3-1で敗退するなど厳しい状況が続いております。しかし、選手一同一度掲げた目標を達成することはできておりません。次回選権では、より一層、練習内容を工夫し相手のスキをつけてチャンスを生かし優勝を狙っております。皆さんの応援が、選手一人一人の力になりますので、引き続き応援の程、よろしくお願致します。(顧問/久保田豪)



●第56回岩手県高等学校1、2年別柔道選手権大会
個人戦
48kg級 1位 根子美優(2B1)
52kg級 2位 小松秋音(1A2)
57kg級 2位 吉田美珠(2A2)
63kg級 2位 阿部柚月(2B1)
70kg級 3位 川村紅葉(1A1)
78kg級 3位 阿部環花(1A1)
78kg超級 2位 市村千愛(2B2)
●第68回岩手県高等学校新人柔道大会
団体戦 3位
吉田 美珠(2A2)
阿部 柚月(2B1)
市村 千愛(2B2)
青山 桃花(2B2)
小松 秋音(1A2)

女子柔道部は、キャプテンを中心に声を掛け合いながら、お互いに切磋琢磨し日々の練習に取り組んでいきます。新チームで行われた新人戦では、団体戦3位、個人戦入賞者8名と奮闘しました。次は全国選手権大会の県予選が行われます。部員全員が一丸となり団体戦、個人戦ともに優勝し、全国大会の切符を勝ち取りに行きます。今後とも応援よろしくお願致します。(顧問/長澤英胤、佐々木方美)

●県秋季大会 第3位
準決勝 盛岡中央24-13盛岡四
準決勝 盛岡中央23-36花巻北
第三シード決定戦
盛岡中央27-18盛岡南
●県新人大会 第3位
二回戦 盛岡中央29-27盛岡三
三回戦 盛岡中央24-20盛岡四
準決勝 盛岡中央24-33花巻北
第三シード決定戦
盛岡中央24-23盛岡南
六月に三年生が東北大会に連れ行つてくれたこともあり、新チームは高い目標を持って日々努

力しています。「堅守速攻」「勇往邁進」のモットーのもと、現在二つの大会を終えましたが、共に第三位となりました。二位との差を埋めるべく、新たなチャレンジを考えています。十二月二十一日から開催される県選抜大会で、東北大会の出場権を獲得できるように、更に努力していきたいと思ひます。(顧問/杉田陽子)

●陸上競技部
●第75回岩手県民体育大会陸上競技2部男子走高跳
3位 小野真悟(1Z1)
●第74回岩手県高等学校新人陸上競技大会男子走高跳
3位 小野真悟(1Z1)
6位 菅原恵太(1Z2)

部員は3年生の引退後、短距離(跳躍・投擲含む)ブロック18名、長距離ブロック3名、マネージャー2名の合計23名で、全国大会・東北大会出場、県大会入賞を目指し岩手県運動公園を中心に活動しています。
今年度は1年生が17名入部し、活気のある日々を送っています。岩手県新人戦では男子走高跳において6位入賞、男子棒高跳において2位入賞という成果がありました。どちらとも1年生ということ、同学年はもちろん上級生にも刺激があつたと思ひます。また、長距離ブロックにおいても1年生が主体となり、岩手県新人戦では男子800mにおいてB決勝進出を果たし、着実に力が付いてきています。これら今年度の結果を踏まえ、来年度は更なるチーム力アップに努力し、一人でも多く全国大会・東北大会に出場出来るよう頑張っていきたいと思ひます。(顧問/工藤 光)

●男子バスケットボール部
●第69回岩手県高等学校新人大会バスケットボール競技盛岡地区予選
第1回戦 盛岡中央55-66盛岡商業
敗者復活戦 盛岡中央82-38不考養養舎(男) 岩手県大会出場
男子バスケットボール部は現在、2年生10人、1年生8人で活動しています。チームに貢献できるように、プレイヤー一人一人技術向上のために日々練習に励んでいくところですが、プレイヤー同士、互いに意見を出し合ったり、技術を教え合ったりして、1勝でも多く勝てるように努力を重ねています。今年度は、ディフェンスの強化に力を入れており、チームで連携した守りが強みとなるよう、日々練習を積んでいます。今後は、更なるディフェンスの強化に加え、個々のオフエンススキルの上に向けて精進していきたいと思ひます。最後になりましたが、日々の部活動にご支援をいただき、ありがとうございます。今後とも何卒よろしくお願いたします。(顧問/田村祐太)

●女子バレーボール部
●第33回東北私立高等学校男子・女子バレーボール選手権大会予選会(兼、第23回岩手県私立高等学校男子・女子バレーボール選手権大会)予選リーグ
盛岡中央0-2水沢第一
盛岡中央0-2一関修紅
代表決定トーナメント
盛岡中央2-0専大北上
2回戦 盛岡中央0-2盛岡誠核
予選敗退
●第76回全日本バレーボール高等学校選手権大会盛岡地区予選予選リーグ
盛岡中央0-2盛岡第四
盛岡中央0-2盛岡第二
代表決定戦 盛岡中央0-2盛岡商業
敗者復活戦 盛岡中央0-2盛岡商業
予選敗退

●卓球部
●第69回岩手県高等学校新人卓球競技大会
1年生6名、2年生7名の計13名で活動しています。
明るく元気なだけ取り柄のチームですが、地区予選を突破し、県大会出場を目標に日々練習に励んでいます。(顧問/中野 浩)

●バドミントン部
●第63回岩手県新人バドミントン大会(盛岡地区大会)
団体戦
2回戦 盛岡中央2-3盛岡農業
女子 盛岡中央0-3盛岡商業
個人戦 盛岡中央0-3盛岡商業
男子ダブルス 川村光矢(2A1)・中田仁汰(2S2)ペア
県大会出場決定(8位)

●ソフトテニス部
●第68回岩手県高等学校新人大会
男子 団体戦
1回戦 盛岡中央3-0盛岡農業
2回戦 盛岡中央0-2岩手
女子 団体戦 ※岩手女子高校と合同チーム
1回戦 盛岡中央2-1岩泉・釜石商工
2回戦 盛岡中央0-2盛岡第二
●第50回東北私立高等学校ソフトテニス選手権大会
男子 個人戦 田中館爽汰(2B1)・藤澤孝輝(2Z1)ペア

男子学校対抗 2回戦敗退
女子学校対抗 2回戦敗退
男子シングルス 2回戦敗退
齋藤シンケル(2A1)
女子シングルス 2回戦敗退
大崎利心(2A1)
外下朋果(1A2R)
村井翔歩(1S2R)
女子ダブルス 2回戦敗退
大崎利心(2A1)・外下朋果(1S21)ペア
3年生が引退し、新チームとして初の大会となる新人大会は、男女とも盛岡地区予選を通過し県大会へ出場することができました。惜しくもベスト16には届きませんでした。生徒は1月に盛岡市で開催される県選抜個人戦に向けて練習に励んでおります。保護者の皆様におかれましては、朝早くからの練習試合会場への送迎や活動の支えのご理解を頂きましてありがとうございます。(顧問/吉田幸彦、佐々木美咲)

●テニス部
●第55回岩手県高等学校新人テニス大会
男子団体 一回戦敗退
●令和5年度チャレンジ男子シングルス 女子
3位 藤澤乃々花(1Z1)

●ソフトテニス部
●第50回東北私立高等学校ソフトテニス選手権大会
男子 個人戦 田中館爽汰(2B1)・藤澤孝輝(2Z1)ペア

にに向けた練習を行いました。4月5月の高総体では思ったように実力が奮わなかった生徒が多かったのですが、9月、10月の新人戦では、数年ぶりに個人戦に出場する生徒が出てきたので、この流れをいい方向に持っていきたいと思ひます。また、大会を通じて生徒たちの今後の課題が見えたので、気を引き締めて今後の活動に取り組んでいきたいと思ひます。(顧問/野寄 裕)



2023年8月に北海道石狩市で行われた全国高等学校総合体育大会ソフトボール競技に出場して参りました。新チームとなり、少数メンバーのチームではありますが、2024年3月に山口県で行われる全国高等学校男子ソフトボール選抜大会に向けて、冬季の

【男子ソフトボール部】
令和5年度全国高等学校総合体育大会ソフトボール競技 出場
第50回東北総合体育大会 ソフトボール少年男子 出場(岩手県少年男子選抜)
第18回東北高等学校男子ソフトボール選抜大会 出場

予選リーグ
1-4 東北
0-4 秋田令和
女子 個人戦
吉田 健(2Z2)・山本 愛(2Z2) 予選敗退
0-4 秋田令和
0-4 福島東陵 予選敗退

新人戦において、惜しくも個人戦の出場を逃し、悔しい気持ちを抱えながら県大会の団体戦に臨んだ結果、敗退はしたものの各員、内容の濃い試合を行うことができた。また、東北私学大会への出場も叶い、全国レベルの試合を体感し、トップレベルの選手のプレーを見ることでよい刺激となりました。

男女とも更なる活躍を期待して
(顧問/梅木翔太)

【ゴルフ部】
東北Jrゴルフ選手権
5位 後藤羽翼(3A2)
全国高等学校ゴルフ選手権(女子団体の部)東北大会
2位(全国大会出場)
国民体育大会(鹿児島県)ゴルフ
出場 女子の部
中野舞子(2Z4R)
全国高等学校ゴルフ選手権秋季



練習に励んでいきたいと思えます。
(顧問/田村紘大)

【少林寺拳法部】
第17回東北高等学校少林寺拳法選手権大会に、本校3年生の生徒3名が出場しました。出場者の多くは小学生から始めた拳士も多く、有段者がほとんどの中、今回参加した中央高校の生徒は、早くても中学校1年生から始めた子たちが堂々とした演武を披露していただきました。単独演武では構成のミスによる減点もあり最下位となりました。減点が無ければ、もう少し出ており良い演武と感じられました。減点が無ければ、もう少し順位が上であつたという話も聞きました。この3人の組演武では、参加者が3組のため、最下位ではあるものの3位入賞することができました。こちらも良く声も出ていて、練習の成果が出ていると感じられるものでした。もっと級拳士が参加していただければ、その中で1位を取れそうだったとも感じさせてくれるものになりました。
(顧問/中村祐史)

今年度も各種大会で好成績を残すことが出来ました。7月の東北Jrゴルフ選手権では3A2後藤羽翼が5位となり日本Jrゴルフ選手権に5月出場。10月の秋季東北大会では2Z4R中野舞子が3位となり来春3月に兵庫県三木市で開催される全国大会に出場します。

また、今年度は女子団体戦で東北地区2位となり6年ぶり5度目の全国大会に出場しました。

今後本校の活動だけに限らず、岩手県ゴルフ連盟はじめ関係各位と連携し、ゴルフの発展に努めていきたいと思えます。
(顧問/高橋 亨)



新型コロナウイルスによって長く制限を受けていた各種社会活動もようやく規制緩和となり、盛岡さんさ踊りも4年振りに通常開催となりました。待ちに待ったこの時のために今年度は四月早々からリーダーを中心に練習を開始しました。例年七月以降は練習に熱が入りますが、今年は連日猛暑日です。さらには過酷な練習になりました。しかし、4年前にS学園高校に奪われた優勝旗を奪還するとい

【さんさ同好会】
今年度も各種大会で好成績を残すことが出来ました。7月の東北Jrゴルフ選手権では3A2後藤羽翼が5位となり日本Jrゴルフ選手権に5月出場。10月の秋季東北大会では2Z4R中野舞子が3位となり来春3月に兵庫県三木市で開催される全国大会に出場します。

また、今年度は女子団体戦で東北地区2位となり6年ぶり5度目の全国大会に出場しました。

今後本校の活動だけに限らず、岩手県ゴルフ連盟はじめ関係各位と連携し、ゴルフの発展に努めていきたいと思えます。
(顧問/高橋 亨)

東北大会
女子の部
3位 中野舞子(2Z4R)
12位 佐々木ひかり(1B1)
16位 新田智央(1B2)

(全国大会出場)

う目標のため一致団結して乗り越えて、本番では高校生らしい元気で統一性のあるパレードを披露することができました。パレード終了後に行われた結果発表で、「優勝は盛岡中央高等学校」のアナウンスの瞬間は喜びよりも安堵の思いが強かったことを覚えていきます。

今回取り戻した優勝旗を二度と他校に奪われることのないように来年以降も生徒たちには頑張つて欲しいと思います。
(顧問/岩崎聡史)

【家庭部】
家庭部は毎週月曜日の放課後に「クッキング」を中心に活動しています。ワッフル・クレープ・ミルク・クリームシチュー等の食事系に加え、今年度はひつまみ・きりせんしょ等、新たにひつまみ・きり料理を取り入れた活動を行っています。今年度は部長も増え、現在男子3名、女子8名、和気藹々と楽しく活動しています。7月の昇龍祭では、新メニューの「4種のカラフルたい焼き」の模擬店を出店。作っても直ぐなくなるほどの大盛況で、2日間で400個販売しました。夏休み期間には本校オープンスクール家庭部体験にたくさんの中学生在参加してくれました。東亜和裁浴衣作り体験には男子を含めた6名が参加し、和裁を体験しました。8月には盛岡さんさに出演するさんさ同好会の生徒、教職員の着付けを担当。8月のCHUO国際教育フォーラム茶道体験では、姉妹校の生徒や引率の先生方への浴衣の着付けをしました。今年度は色とりどりの髪飾りを手作りで準備したので、とても喜ばれました。校外活動として、インクル子とそして食堂のボランティアに参加、そして令和6年2月には家庭部主催のイベントを開催します。「いわて女性のスペース・ミモザ北さんの生理用品提供事業」活動も継続しています。女子トイレに配置していますが、希望者には昼用夜用をセットで配布活動の場を広げていきます。いつでも入部できます。一緒に活動しましょう!!
(顧問/藤原陽子)

【芸術部】
第47回全国高等学校総合文化祭 美術・工芸部門
岩手県代表 下河原陽由(2A2)
第46回岩手県高等学校総合文化祭 美術工芸展
(絵画部門)
特賞(全国展推薦)
入選 工藤 心愛(3Z1)
下河原陽由の作品は、岩手県代表として2024ぎふ総文に出品予定です。
(デザイン部門)
入選 谷村 美侑(3Z1)
入選 下河原陽由(2A2)

家庭部は毎週月曜日の放課後に「クッキング」を中心に活動しています。ワッフル・クレープ・ミルク・クリームシチュー等の食事系に加え、今年度はひつまみ・きりせんしょ等、新たにひつまみ・きり料理を取り入れた活動を行っています。今年度は部長も増え、現在男子3名、女子8名、和気藹々と楽しく活動しています。7月の昇龍祭では、新メニューの「4種のカラフルたい焼き」の模擬店を出店。作っても直ぐなくなるほどの大盛況で、2日間で400個販売しました。夏休み期間には本校オープンスクール家庭部体験にたくさんの中学生在参加してくれました。東亜和裁浴衣作り体験には男子を含めた6名が参加し、和裁を体験しました。8月には盛岡さんさに出演するさんさ同好会の生徒、教職員の着付けを担当。8月のCHUO国際教育フォーラム茶道体験では、姉妹校の生徒や引率の先生方への浴衣の着付けをしました。今年度は色とりどりの髪飾りを手作りで準備したので、とても喜ばれました。校外活動として、インクル子とそして食堂のボランティアに参加、そして令和6年2月には家庭部主催のイベントを開催します。「いわて女性のスペース・ミモザ北さんの生理用品提供事業」活動も継続しています。女子トイレに配置していますが、希望者には昼用夜用をセットで配布活動の場を広げていきます。いつでも入部できます。一緒に活動しましょう!!
(顧問/藤原陽子)

芸術部は、昇龍祭や高総文祭に向けた作品制作(美術・書道)を行っています。今年度の制作においては新しい挑戦が見られました。美術では絵画以外の部門への出品、書道では第1種(全紙・聯落ちサイズ)への出品となりました。芸術部の作品の一部は、1号館2号館の渡り廊下に展示しています。ぜひご覧ください。
(顧問/佐藤律子)

【書道部】
第24回高校生国際美術展 書の部
奨励賞 新谷 三汰(3Z1)
第18回岩手日報高校書展 秀逸賞 新谷 三汰(3Z1)
第46回岩手県高等学校総合文化祭 書道部門 第1種 漢字
入選 新谷 三汰(3Z1)

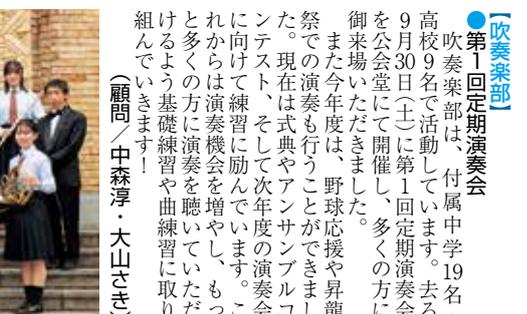
【芸術部】
第47回全国高等学校総合文化祭 美術・工芸部門
岩手県代表 下河原陽由(2A2)
第46回岩手県高等学校総合文化祭 美術工芸展
(絵画部門)
特賞(全国展推薦)
入選 工藤 心愛(3Z1)
下河原陽由の作品は、岩手県代表として2024ぎふ総文に出品予定です。
(デザイン部門)
入選 谷村 美侑(3Z1)
入選 下河原陽由(2A2)



【囲碁将棋部】
第42回岩手県高等学校文化連盟将棋新人大会
男子個人戦(ベスト8以上)
B級 久保優翔(2V) 第5位
C級 細川昂徳(1S2) 第1位
(囲碁)
渡邊和貴(2S2Z2)
第47回文部科学大臣杯全国高校囲碁選手権大会(東京)
男子個人戦(ベスト16)
第47回全国高等学校総合文化祭 連盟囲碁新人大会
男子個人戦 A級優勝
第37回東北地区高等学校囲碁選手権大会
県対抗団体戦主将 出場

【吹奏楽部】
第1回定期演奏会
吹奏楽部活動は、付属中学19名、高校9名で活動しています。去る9月30日(土)に第1回定期演奏会を公会堂にて開催し、多くの方に御来場いただきました。また今年度は、野球応援や昇龍祭での演奏も行うことができました。現在は式典やアンサンブルコンテスト、そして次年度の演奏会に向けて練習に励んでいます。これからは演奏機会を増やし、もっと多くの方に演奏を聴いていただけるよう基礎練習や曲練習に取り組んでいきます!!
(顧問/中森淳・大山さき)

【吹奏楽部】
第1回定期演奏会
吹奏楽部活動は、付属中学19名、高校9名で活動しています。去る9月30日(土)に第1回定期演奏会を公会堂にて開催し、多くの方に御来場いただきました。また今年度は、野球応援や昇龍祭での演奏も行うことができました。現在は式典やアンサンブルコンテスト、そして次年度の演奏会に向けて練習に励んでいます。これからは演奏機会を増やし、もっと多くの方に演奏を聴いていただけるよう基礎練習や曲練習に取り組んでいきます!!
(顧問/中森淳・大山さき)



龍澤正美前理事長が逝去いたしました



本校の経営母体・学校法人龍澤学園の龍澤正美前理事長が6月4日に逝去いたしました。享年83歳でした。平成6年、第2代理事長に就任した龍澤正美前理事長は、時代の変化を見据えた学校改革に着手。進路指導体制や海外姉妹校とのグローバルネットワークを構築するなど、本校が岩手県を代表する文武両道の進学校へと進化・成長する過程で、絶大なリーダーシップを発揮しました。私学における人材づくり、学校改革のモデルとして、全国の関係者から高い評価をいただきました。今年で24回目の開催となったCHUO国際教育フォーラムは、その象徴的な教育イベントのひとつです。本校はこれからも、龍澤尚孝新理事長を先頭に全教職員が一丸となり、龍澤正美前理事長が築き上げた遺産を継承し、生徒・保護者、そして社会全体の期待に応えられる学校づくりに邁進したいという決意を新たにしています。皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

理事長就任のごあいさつ



本年6月28日付で学校法人龍澤学園理事長に就任しました龍澤尚孝でございます。創設者の祖父、初代理事長の祖母、前理事長の父から受け継ぎ三世代目のバトンを託され、その重積を引き継ぎました。(当法人は本年度創立70周年を迎えますが、その間、時代の要請に応え、幼児、中学校、高校、予備校、専門学校とその事業の幅を広げてきました。また、国内外で活躍する多数の有意な人材を育成してきたと自負しております。)

盛岡中央高校、附属中学校は本年度で創立60周年を迎えるにあたり、私学としての志を表した理念、ビジョン、ミッションを柱とし、さらなる質の高い教育の提供、人材育成を行うべく教職員一同、日々教育活動を実践しております。地球規模での環境変動、あらゆる側面でのグローバル化、国内における人口減少、少子高齢化とさまざまな課題はありますが、どんな時代においても変化に対応し、社会をより良く、自らも成長し続けられそんな存在になれるよう生徒の皆さんのサポートを継続していきたいと思っております。

PTAの皆様におかれましては、このような本校の活動に、日々ご理解いただき、ご支援、ご協力をいただけますようお願い申し上げます。就任のご挨拶とさせていただきます。

天津木村氏講演会

本校の総合的な探究の時間では独自の「シン・岩手学」というプログラムを実施しており、岩手県が抱える諸課題に対するの解決策を高校生として考え、発信していくことを目標としています。そこで岩手県外から移住して、現在では岩手県の魅力を発信している天津木村氏に講演を依頼し、10月2日(月)に実施しました。自身の人生や岩手県の魅力についてユーモアを入れながら講演いただき、生徒たちも楽しみながら聞き入りました。

(教育企画課長/梅木翔太)



「岩手の魅力と課題の発見」という講義名のもと、天津木村さんに興味深い講演を開いていただきました。実際は、天津木村さんの半生を振り返り、笑いを交えながらこれから社会に出ていく私たちへのアドバイスをいただくという時間が大半でした。あれほど会場に楽しい雰囲気が出た講演は初めてで、流石、一流の芸能人だなと感じました。

講演を聴いて私が特に心に残った言葉は、「チャンスはそこらへんにある。どれほど拾い上げられるかが重要なんです。」という言葉です。この言葉を受けて、人生においてささいなチャンスに気がつけるような広い視野をもち、自ら行動することが大切なのだと気がつきました。また、岩手県の魅力についてお話をいただいた際には、長年岩手に住んでいる私たちでは気がつくことができない魅力があふれていることに気がつかされました。

沢山の気づき、学びの場を設けて下さった天津木村さんに感謝いたします。 森山魅潤(2S2)

和太鼓 暁 — 盛岡中央高校公演 —

10月16日(月)に附属中学生と高校1年生を対象に和太鼓チーム暁様による公演が行われました。暁は男女混合のプロ和太鼓チームで、大太鼓コンテストで多数の受賞歴を持つ他、三度の日本一と文部科学大臣賞を受賞しているチームです。当日はバラエティーに富んだ演奏で、篠笛などの和楽器を織り交ぜた曲も披露していただきました。公演の中では和太鼓の体験コーナーも実施していただき、生徒は実際に和太鼓を演奏し、貴重な経験もできました。生徒を代表して、1A1組片岸君より「実際の和太鼓の音の響きに感動しました。和太鼓の魅力、楽しさも感じる事ができ、貴重な体験でした」と感想を述べてもらい、1S2組瀧澤さんの花束贈呈をもって公演が終了いたしました。(教務課長/山田智)



編集
後記

今年度も2度会報を発行することができました。9月には創立60周年記念式典、そして4年ぶりに海外姉妹校を招待して国際教育フォーラムを開催することができました。PTAとしては11月に4年ぶりの県外大学見学会として秋田大学を見学しました。来年度も生徒達の活躍を見守り、支えていきたいと思っています。

今号発行にあたり、多くの先生方・生徒、そしてPTA会報委員会の方々にご協力いただきました。ありがとうございました。